

2021年10月13日

(臨床研究に関する公開情報)

慶應義塾大学医学部・病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 肝胎児性肉腫の原因遺伝子解析

[研究代表者] 梅田雄嗣 (京都大学医学部附属病院 小児科 講師)

[共同研究機関と研究責任者]

北海道大学 消化器外科 准教授 神山俊哉

秋田大学 小児科 講師 矢野道広

伊勢崎市民病院 外科 診療部長 鈴木秀樹

千葉大学 小児外科 講師 中田光政

東京大学 小児科 講師 樋渡光輝

東京慈恵医科大学附属第三病院 外科 助教 阿部恭平

東海大学 小児外科 講師 山本裕輝

浜松医科大学 第2外科 助教 森田剛文

名古屋大学 小児科 教授 高橋義行

藤田医科大学 小児科 教授 工藤寿子

岐阜大学 小児科 講師 小関道夫

金沢医科大学 小児外科 教授 岡島英明

福井大学 小児科 助教 鈴木孝二

福井県立病院 小児科 主任医長 谷口義弘

滋賀医科大学 小児科 病院教授 多賀崇

京都府立医科大学 小児科 教授 家原知子

大阪大学 小児外科 助教 野村元成

北野病院 小児科 部長 塩田光隆

大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科 部長 藤崎弘之

兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科 科長 長谷川大一郎

近畿大学 小児科 准教授 坂田尚己

和歌山赤十字病院 外科 副部長 細川慎一

中国労災病院 外科 医員 福田三郎

山口大学 小児科 講師 深野玲司

四国こどもとおとなの医療センター 小児血液・腫瘍内科 医師 岩井艶子

九州大学 小児外科 助教 武本淳吉

九州医療センター 肝胆膵外科 医師 龍知記

大分大学 小児科 教授 末延聡一

久留米大学 小児外科 准教授 深堀優

熊本大学病院 小児外科・移植外科 教授 日比泰造

宮崎大学 小児科 教授 盛武浩

鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科 診療講師 飯野聡

神奈川県立こども医療センター 臨床研究所 所長 兼 病理診断科 部長 田中祐吉

慶應義塾大学医学部 病理診断部 准教授 大喜多肇

国立成育医療研究センター 病理診断部 統括部長 義岡孝子

国立成育医療研究センター 小児がんセンター 小児がんデータ管理科 診療部長 瀧本哲也

広島大学自然科学研究支援開発センター 教授 檜山英三

日本小児がん研究グループ (Japan Children's Cancer Group: JCCG) 理事長

足立壮一 (京都大学大学院医学研究科・教授)

[研究実施期間] 2019年7月9日～2027年7月8日 (8年間)

[研究の目的]

この研究の目的は、肝胎児性肉腫やその類縁疾患である肝間葉系過誤腫に特徴的な遺伝子変異や生物学的特性を知ることにより、新しい治療法を開発することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さんと研究方法

小児あるいは成人の肝胎児性肉腫、肝間葉系過誤腫の患者さん

主たる研究機関及び共同機関において診断された患者さんと JCCG を母体とした小児固形腫瘍観察研究の余剰検体の研究利用について文書にて同意が得られた患者さんから試料を提供していただきます。

主には組織や細胞などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、正常細胞と比較しながら遺伝子の構造や発現量を解析します。調べる対象は、全ての遺伝子です。さらに、試験管内培養や免疫不全マウスを使用して治療法の開発なども行います。

●利用する検体、カルテ情報

検体：血液・頬の粘膜・手術検体・過去に取り出された腫瘍組織の病理標本など (診療または他の研究で使用した余りの検体で、この研究のために新たに採取することはありません)

カルテ情報：診断名、年齢、性別、治療経過、血液検査など

[個人情報等の保護の方法]

対応表なしでは特定の個人を識別できないよう、匿名化された情報から、必要な場合に提供者を識別することができるよう、当該提供者と匿名化の際に置き換えられた記述等とを照合することができるようにする対応表を、他のコンピュータと切り離されたコンピュータを使用し、外部記憶装置に記録させ、そのメディアは、鍵をかけて厳重に保管します

[試料・情報の管理責任者]

京都大学大学院医学研究科 発達小児科学 助教 井澤和司

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果はデータベース、学会や学術雑誌上で発表されますが、その際も患者さんを容易に特定できる個人情報は明らかになりません。

[研究資金・利益相反]

1) 研究資金の種類および提供者

ゴールドリボン・ネットワーク研究助成金（研究代表者：梅田雄嗣）

2) 提供者と研究者との関係

提供者と研究者の間には経済的な利害関係はありません。

3) 利益相反

研究代表者所属機関においては、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。慶應義塾大学医学部・病院においては、「慶應義塾大学病院臨床研究利益相反マネジメント委員会」において適切に審査されています。

なお、この研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、慶應義塾大学医学部長および病院長の許可を受けて実施しております。

[問い合わせ先]

慶應義塾大学医学部 病理診断部 大喜多 肇（おおきた はじめ）

連絡先：TEL 03-5363-3764

[病院の相談窓口]

慶應義塾大学病院 患者総合相談窓口

連絡方法：03-5363-3638（月～土（休診日を除く）8:40～16:30）